

各議員の議案に対する賛否の状況 ※賛否の分かれた案件を記載しています。 ○：賛成 ×：反対 ー：欠席

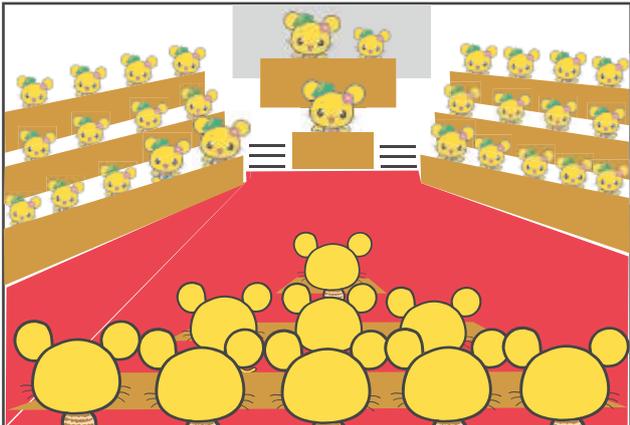
氏名	石川剛	国政	大野	眞鍋好	三好藤	後川村	山田	河村	三宅	谷内	篠永	山本	荻田	吉田	井川	宇高	原田	青木	石津	飛鷹	谷	曾我部	石川秀	越智	西岡	三谷												
議案番号																																						
議案第1号	○	○	○	○	×	○	○	○	ー	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
議案第2号	○	○	○	○	×	○	○	○	ー	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×									
議案第4号	○	○	○	○	×	○	○	○	ー	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×									
議案第21号	○	○	○	○	×	○	○	○	ー	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×									
議案第22号	○	○	○	○	×	○	○	○	ー	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×									
議案第37号	○	○	○	○	×	○	○	○	ー	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×									
議案第38号	○	○	○	○	×	○	○	○	ー	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×									
意見書第1号	○	○	○	○	×	○	○	○	ー	○	○		長	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
意見書第2号	×	×	×	×	○	×	×	×	ー	×	×			×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○									
26年請願第1号	×	×	×	×	○	×	×	×	ー	×	×			×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○									
26年請願第2号	×	×	×	×	○	×	×	×	ー	×	×	×		×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○										
26年陳情第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										

案 内 板

市発足 10 周年記念事業

子ども議会開催

開催日：平成 26 年 8 月 6 日（水）
 場 所：四国中央市役所 5 階 議場
 目 的：四国中央市の未来を担う子どもたちが、市議会の模擬体験を通して地方自治の仕組みを学び、市政への理解と関心を高めることを目指します。
 内 容：市内中学校 7 校から子ども議員を選出し、理事者に対して、まちづくりや教育問題等について一般質問を行います。



- ～今後のスケジュール～
- ・第 1 回研修（7 月下旬夏休み中）……………議会の仕組みについて／班分け
 - ・第 2 回研修（7 月下旬夏休み中）……………一般質問作成
 - ・本会議（8 月 6 日）……………リハーサル・子ども議会

〔お問い合わせ先〕 四国中央市議会事務局 28-6048

議会を傍聴してみませんか!?

本会議及び委員会は原則として公開していますので、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に、市役所 5 階で傍聴人受付簿に氏名、住所を御記入の上、傍聴してください。また、本会議の様子は市役所 2 階ロビー及び各庁舎、ケーブルテレビ、インターネットで生中継をしています。

四国中央市 議会中継

《議会だより編集委員会》

編集委員 ◎印は委員長 ○印は副委員長
 ◎谷内 開 ○河村 郁男・石川 剛・山川 和孝・宇高 英治・石川 秀光・三谷つぎむ
 ※議会だよりは、年 4 回（5 月号・8 月号・11 月号・2 月号）広報との合併号になります。

【お問い合わせ先】
 〒 799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川 4 丁目 6 番 55 号（四国中央市議会内） TEL 0896-28-6048

建設水道委員会

●議案第 10 号「平成 25 年度四国中央市一般会計補正予算（第 8 号）」所管分

質問 公共土木施設災害復旧費のうち、道路橋りょう災害復旧工事の内容について伺う。

答弁 下川町竹花橋付近が、昨年の台風により、道路の山腹斜面から路側が崩壊し、地質調査で脆弱な地盤であることが判明し、測量設計が完了したことから、復旧延長 32 メートル、幅員 4 メートルで、橋梁形式により復旧する計画である。

●議案第 21 号「平成 26 年度四国中央市一般会計予算」所管分

質問 道路新設改良費のハザードマップ作成委託料の内容について伺う。

答弁 平成 25 年度に 700 万円予算計上し、新宮、川之江の一部の地域の作成を進めている。土居地域においては、平成 25 年 10 月 15 日に土砂災害の警戒区域、特別警戒区域が指定された。警戒避難体制の策定ということで、今回、土砂災害危険箇所の周知対策として作成するものである。住民の方にも参加していただき、また安全・危機管理課や県とも協議、調整しながら作成していきたいと考えている。

●議案第 32 号「平成 26 年度四国中央市下水道事業特別会計予算」

質問 公営企業会計移行支援業務委託料について、この業務の委託期間はいつか。

答弁 平成 26 年度から 28 年度の 3 カ年である。

質問 公営企業会計に移行した場合、組織機構にも影響してくるのか。

答弁 現在のところ、一部適用である財務規程部分のみの適用を考えている。

●議案第 40 号「平成 26 年度四国中央市工業用水道事業会計予算」

質問 3 工業用水道事業の全ての収益予定額が、前年度と比べて上がっているのはなぜか。

答弁 平成 26 年度より、会計制度の改正によって、補助金等により取得した固定資産の償却制度、いわゆる、みなし償却制度が廃止され、土地以外の全ての固定資産がフル償却されるようになった。これに伴い、償却資産に係る補助金等を長期前受け金に移行し、減価償却見合い分を長期前受け金戻入として、順次収益化されるためである。

平成 26 年 第 1 回 四国中央市議会定例会 議決結果一覧

番 号	件 名	議決結果
議案第 1 号	消費税率等の引上げに伴う関係条例の整備について	原案可決
議案第 2 号	四国中央市郷土資料館条例の制定について	原案可決
議案第 3 号	四国中央市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	原案可決
議案第 4 号	四国中央市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 5 号	四国中央市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 6 号	四国中央市へき地保育所条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 7 号	四国中央市子ども発達支援事業施設条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 8 号	四国中央市簡易水道事業等給水条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 9 号	四国中央市市長等及び職員の給与の臨時特例に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案第 10 号	平成 25 年度四国中央市一般会計補正予算（第 8 号）	原案可決
議案第 11 号	平成 25 年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 12 号	平成 25 年度四国中央市国民権法保険診療所事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 13 号	平成 25 年度四国中央市介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議案第 14 号	平成 25 年度四国中央市港湾上屋事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 15 号	平成 25 年度四国中央市寒川東部臨海土地造成事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 16 号	平成 25 年度四国中央市下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議案第 17 号	平成 25 年度四国中央市介護サービス事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 18 号	平成 25 年度四国中央市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 19 号	平成 25 年度四国中央市水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 20 号	平成 25 年度四国中央市工業用水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 21 号	平成 26 年度四国中央市一般会計予算	原案可決
議案第 22 号	平成 26 年度四国中央市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決

番 号	件 名	議決結果
議案第 23 号	平成 26 年度四国中央市国民健康保険診療所事業特別会計予算	原案可決
議案第 24 号	平成 26 年度四国中央市介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第 25 号	平成 26 年度四国中央市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決
議案第 26 号	平成 26 年度四国中央市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決
議案第 27 号	平成 26 年度四国中央市福祉バス事業特別会計予算	原案可決
議案第 28 号	平成 26 年度四国中央市港湾上屋事業特別会計予算	原案可決
議案第 29 号	平成 26 年度四国中央市西部臨海土地造成事業特別会計予算	原案可決
議案第 30 号	平成 26 年度四国中央市金子地区臨海土地造成事業特別会計予算	原案可決
議案第 31 号	平成 26 年度四国中央市寒川東部臨海土地造成事業特別会計予算	原案可決
議案第 32 号	平成 26 年度四国中央市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第 33 号	平成 26 年度四国中央市駐車場事業特別会計予算	原案可決
議案第 34 号	平成 26 年度四国中央市介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案第 35 号	平成 26 年度四国中央市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第 36 号	平成 26 年度四国中央市介護予防支援事業特別会計予算	原案可決
議案第 37 号	平成 26 年度四国中央市後期高齢者医療保険事業特別会計予算	原案可決
議案第 38 号	平成 26 年度四国中央市水道事業会計予算	原案可決
議案第 39 号	平成 26 年度四国中央市簡易水道事業会計予算	原案可決
議案第 40 号	平成 26 年度四国中央市工業用水道事業会計予算	原案可決
議案第 41 号	平成 26 年度四国中央市財産区管理会特別会計予算	原案可決
議案第 42 号	四国中央市指定金融機関の指定について	原案可決
議案第 43 号	市道路線の認定及び変更について	原案可決
議案第 44 号	馬場雨水排水施設整備工事（土木）請負契約の締結について	原案可決
議案第 45 号	平成 25 年度四国中央市一般会計補正予算（第 9 号）	原案可決
議案第 46 号	予讃線伊予三島駅構内三島第一踏切拡幅工事委託に関する平成 26 年度協定の締結について	原案可決
諮問第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨 答 申
推薦第 1 号	四国中央市農業委員会委員の推薦について	推 薦
意見書第 1 号	「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書について	原案可決
意見書第 2 号	集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書について	否 決
意見書第 3 号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書について	原案可決
26 年請願第 1 号	「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の提出を求める請願	不 採 択
26 年請願第 2 号	消費税の増税中止を国に求める請願	不 採 択
26 年請願第 3 号	「新たな知見」で伊方原発の徹底検証等を求める請願	継続審査
26 年陳情第 1 号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	継続審査
26 年陳情第 2 号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情	採 択
25 年請願第 2 号	フクシマを繰り返さないために伊方原発の再稼働を認めないことを求める請願	継続審査
25 年陳情第 4 号	日本政府が、事実にもとづく歴史認識を国内外に表明することを求める陳情	継続審査
25 年陳情第 5 号	伊方原発の再稼働を認めないことを求める陳情	継続審査
25 年陳情第 6 号	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情	継続審査
25 年陳情第 7 号	介護職員の処遇改善を求める陳情	継続審査
25 年陳情第 8 号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情	継続審査
25 年陳情第 9 号	「四国中央市人権対策協議会の補助金」に関する陳情	趣旨採択

◆児童虐待について

質問 児童虐待は毎年増加しています。全国では週に1回のペースで痛ましい事件が起きています。本市における児童虐待への支援や対策についての取り組みを伺います。また、児童福祉司など専門の資格を持っている人はおられますか。教育現場などの虐待防止の取り組みについても伺います。



答弁 副市長、子育て支援担当部長

平成24年度の児童虐待を含む相談受け付け件数は、99件であり、相談受け付け後は、各関係機関と連携をとり、その緊急度に応じて担当所管につなげるとともに、家庭相談員・保健師等による戸別訪問等を実施している。児童福祉司等の有資格者については、こども課職員1名が研修を終了し、任用資格を有している。教育現場での児童虐待防止については、早期に組織で対応することが被害を最小限に抑える最善策だと考えており、ネットワークの力を十分に活用して情報を集め、早期発見・早期対応に努めたい。

その他の質問 ODV（ドメスティック・バイオレンス）について

○男女共同参画社会の実現に向けて ○川之江地区まちづくり基本計画について

石津 千代子 議員

◆大切な地域防災の中核を担う消防団の強化について伺います

質問 入団促進など、本市における現状、処遇改善や訓練支援における課題と対策、大災害を見据えた消防団員の強化は待たなしの課題であります。本市における対策をお伺いします。



答弁 市長

入団促進の取り組みについては、消防団活動に積極的に協力している事業所に対して消防団協力事業所表示証を交付している。また、平成26年4月からは、団員証明書などを提示すれば何らかの特典が受けられる制度などを導入することとなり、今後も広く周知していきたい。団員の処遇については、報酬、手当、退職報酬金の引き上げにより改善されるものと考えている。訓練支援については、各方面隊の要望をもとに常備消防の各署所が指導に当たっている。消防団員の強化策としては、年間を通じて各種訓練を重ね、大災害に備えている。

その他の質問 ○中学校学習指導要領解説書の竹島及び尖閣諸島領土の明記について

○胃がんリスク検査制度の導入について

国政 守 議員

常任委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中。

総務委員会

●議案第21号「平成26年度四国中央市一般会計予算」所管分

質問 地方消費税交付金の関係だが、地方消費税が1.7倍になるということだったが、収入が増加するのはいつごろか。

答弁 地方消費税交付金については、4月から地方消費税も1%から1.7%になるが、消費者が消費税を負担し、それが事業者から国、県を通じて市に交付金として入ってくるまでには数年かかると言われていることから、初年度の平成26年度については、平年度化された場合の増額分の約3分の1程度を見込んでいます。

質問 県知事選挙費委託金と県議会議員選挙費委託金に大きな金額の差があるのはどうしてか。

答弁 県議会議員の任期は平成27年4月29日である。投票日の関係から入場券の発送、期日前投票等平成26年度に必要な見込まれる経費を計上しているため、平成26年度中に行われる県知事選挙とは費用に大きな金額の差がある。

質問 消防・防災センターの進捗状況について伺う。

答弁 消防・防災センターの進捗状況については予定どおり進捗しており、平成27年4月オープンの予定で現在進んでいる。

●議案第27号「平成26年度四国中央市福祉バス事業特別会計予算」

質問 事業用備品としてバスを購入することだが、何人乗りを考えているのか。また、納車の予定を伺う。

答弁 バスについては14人乗りを購入する予定である。納車は、電源立地地域対策交付金の申請の関係から、夏ごろになると考えている。

●議案第42号「四国中央市指定金融機関の指定について」

質問 申し込みのあった金融機関のうち、一つの金融機関が入らなかった理由について、内容を伺う。

答弁 指定金融機関の市場開放については、市民サービスを向上させることが狙いの一つであったが、他行から提案のあった市会計窓口の充実策については対応が難しいとの回答があったため、今回は指定しないという結論に達した。

教育厚生委員会

●議案第2号「四国中央市郷土資料館条例の制定について」

質問 指定管理者制度の導入により、効率的な運営になるとの説明だが、指定管理によらずとも職員の身分保障や資料の管理方法の改善により、体制強化や運営の充実につながると考えるのがいかがか。

答弁 効率的な運営の考え方として、これまで両館が独立して運営を行ってきたが、運営内容の類似点が多かったことから、それぞれの特質・特性を生かしつつ、連携を図った運営を行っていきたくと考えている。また、職員の身分については、指定管理者制度の導入に当たっては、正規職員として雇用されることを考えており、現状に比べ安定した身分保障につながると考えている。

●議案第10号「平成25年度四国中央市一般会計補正予算（第8号）」所管分

質問 保健活動費の健康増進事業が減額となっている。これは受診者数が少ないためと思われるが、対策等についてどのように考えているか。

答弁 今年度の総合健診受診者の実績は4,000名を超えており、前年より増加しているものの、当初目標としていた受診者数に至らなかったことが減額要因である。健診については、年間45回実施しており、今後も広報の活用や未受診者に対するコール・リコールを実施し、目標人数に達するよう啓発活動に努めたい。

質問 長津公民館新築事業について、内容と進捗状況を伺う。

答弁 長津公民館の進捗状況は、公民館の西新入路の整備を進めていく中で、地元からの強い要望により東新入路との連絡や駐車スペース、公民館まつりなど屋外行事の広場スペースを確保するために公民館敷地とJRの線路との間の約400平方メートルの敷地を買い増しし、敷地造成を行うものである。現在、設計段階にあり、4月以降の発注を予定しており、6月までには完成するよう努めたい。なお、公民館本体は3月末までの完成を予定している。

●議案第21号「平成26年度四国中央市一般会計予算」所管分

質問 生活保護に係る扶助費として、年間10億円を超す予算が必要となっているが、自立に向けた取り組みとして、就労に結びつく資格の取得の方策は講じているのか。

答弁 生活困窮者自立支援法のその他事業として、就労支援を目的としてヘルパー資格等の取得支援や、負の連鎖を断ち切るため生活保護受給世帯の子供が高校、大学を受験できるよう教育機関との連携による教育支援などといった任意事業がある。現在、どのような事業に着手するか検討中であるが、社会福祉協議会など社会福祉法人と連携し、就労支援を中心に取り組みたいと考えている。

環境経済委員会

●議案第21号「平成26年度四国中央市一般会計予算」所管分

質問 商工振興費、企業合同就職説明会事業について、今年度の企業合同就職説明会の状況を伺う。

答弁 松山市総合コミュニティセンターで開催し、市内企業から20社のエントリーと学生93名の参加があった。四国中央市の企業のみで実施したことにより、企業、学生双方にメリットがあったと考えている。学生への周知は、四国内の大学及び高等専門学校等への訪問や市内3高校卒業生の進学先へのダイレクトメール送付などで行い、愛媛大学26名、松山大学20名、高知大学4名のほか、関東や関西からの参加もあった。

質問 農業総務費、農業振興センター建設事業について、埋め立て地に建設する理由を伺う。

答弁 平成25年2月に示された課等の適正配置計画の中で、平成19年から農業振興センター内に配置されている農業振興課、農業委員会事務局に加え、農林水産課を新たに配置することとされており、隣接する土地に農業振興センター別館を建設するもので、工事着手は7月からの予定である。

●議案第22号「平成26年度四国中央市国民健康保険事業特別会計予算」

質問 保険料軽減措置の拡大に伴い、5割軽減及び2割軽減の対象者数と金額は、従前と比較するとどの程度の違いがあるのか。

答弁 5割軽減に関しては、医療及び支援分で1,753名、介護分で555名、全体で4,671万510円の軽減拡大となり、2割軽減に関しては、医療及び支援分でマイナス183名、介護分でマイナス52名、全体でマイナス270万636円となる。

●議案第37号「平成26年度四国中央市後期高齢者医療保険事業特別会計予算」

質問 平成26、27年度の均等割額はいくらになるのか。また、賦課限度額が現在の55万円から2万円引き上げられて57万円となるが、その対象者は何名いるのか。

答弁 平成26、27年度の均等割額は、平成24、25年度の4万4,194円から1,037円増加した4万5,231円である。また、賦課限度額が57万円に引き上げられる方は、134名の見込みである。

◆市民文化ホール再入札公告。暴走やめよ、自治体の自主性はどこへ

質問 市は入札条件を覆し、参加が1者でも実施、予定価格の事前公表はやめ、ゼネコン単独等も認め、建物規模はそのままに分離発注を一括発注に変えたのは、何でもありの御都合主義。議会対応では共産党を排除しての暴走は、民主主義の原点を崩壊させるもの。断じて容認できない。



三好 平 議員

答弁 市長、副市長

市民文化ホール新築工事の入札公告に当たり、1者応札でも可、予定価格事後公表、参加要件緩和など特例を定める要綱を告示させていただいたが、これらの措置は、十分に透明性・公平性・競争性が担保された公告であると考えているので御理解いただきたい。また、懸案事項等については、必要に応じて全議員あるいは会派ごとに御意見を伺ったり、御報告するなどにより、より民主的に円滑な市政運営を図っていきたくと考えている。

その他の質問 ○中田井浄水場等更新整備・運営事業について
○市内建設関係業者の育成と入札方式の考え方について
○川之江分署の体制強化と川滝・下川地区の新たな手立てについて

◆地域産業について

質問 農業政策が大きく変わろうとしています。この地域の優良農地が耕作放棄地、遊休地にならない取り組みを、さらには農地利用及び土地活用の意向調査を実施するなど、守るべき農地をしっかりと守っていただきたいと思っておりますので、御所見をお伺いします。



眞鍋 幹雄 議員

答弁 市長

本市では、地域で中心となる経営体を定め、将来の農地利用のあり方を把握することで農業を発展させていくことを目指す人・農地プランの作成に取り組むとともに、農業振興センターでは経営体への農作業支援を行うアグリサポート事業を開始すべく検討、研究を行っている。当事業が開始されれば、不測の事態にも対応できることとなり、営農をする上での安心感が醸成され、意欲の向上や担い手の確保にも寄与するものと考えている。また、来年度から農地中間管理機構が創設されることとなり、多岐にわたる意向調査を踏まえて、人・農地プランと連携することで地域農業の有効な施策が実施できるものと考えている。

その他の質問 ○地域の支え合いについて ○文化財指定について

◆災害対策と自主防災組織について

質問 北関東地方に大きな爪跡を残した大雪被害と同時期に、本市でも、積雪による道路の寸断やスリップなどの問題が起こったが、備えと対策は。自主防災組織結成に向けての支援体制やボランティアグループと支援を必要とする人とを結ぶシステムの構築についての取り組みは。



石川 剛 議員

答弁 市長、建設部長、市民環境部長

本市では現在22の建設業者に除雪対応を依頼しており、即時対応できる体制をとっている。積雪による道路通行止めの予防対策として、凍結が多く発生する箇所等に道路凍結防止剤を事前に配付し、除雪時には、地元の方に散布をお願いしており、随時追加配付している。また、多くの地域において自主防災組織が結成できるよう、出前講座等を通じて働きかけを行っている。互助の社会づくりを構築する上で重要なボランティア活動については、ボランティア市民活動センターを支援拠点として位置づけ、ボランティアマッチングを実施している。

その他の質問 ○市民ボランティアと観光とのかわりについて ○障害者の自立支援について

◆ふえすぎた有害鳥獣の駆除対策について

質問 今、山間部や山沿いの地域では、猿、イノシシ、鹿が人家の近くまで出没し、農作物に大きな被害を与えている。当然、防御対策は必要であるが、ふえすぎたこれら動物の駆除対策も喫緊の課題である。バランスのとれた自然界の生態系となるよう努めてほしい。



後藤 光雄 議員

答弁 農林水産担当部長

本市においても有害鳥獣による農作物被害の相談が後を絶たず、防除・捕獲への対策は重要課題となっている。そのような中、平成26年中に鳥獣保護法が改正される旨の報道がされたが、その内容としては動物保護重視の姿勢を管理へと転換、狩猟に関する規制を緩和する内容となっている。この法律が改正された際には、本市の取り組み指針である県の鳥獣保護計画も、国の制度に準じて改正されることとなるため、本市においても関係機関と連携し、効果的な対策を講じていきたい。

その他の質問 ○四国中央市の知名度アップのため、松山自動車道のインターチェンジ名の変更を

◆350床規模の中核病院建設用地を、愛媛県に求めるのは正当な要求

質問 26億円投入した宇摩圏域医療再生計画の核心は、350床規模の中核病院建設である。地域医療再生計画には、「三島医療センターの場所に建設する」とあるが、3.11以後は液状化などで適地でないとの認識が広がっており、医療再生協議会で正式に議論し、愛媛県に代替地を要求すべきである。



青木 永六 議員

答弁 市長、福祉保健部長

四国中央病院と三島医療センターを統合して建設される予定である350床規模の中核病院の建設については、平成24年に病院内に統合新病院検討委員会が設置され、病院建設計画の具現化に向けた検討がなされており、三島医療センター以外の場所も候補地として検討していることもお聞きしている。市民の皆様にとっても、建設適地の選定は非常に重要な案件であるため、地元医師会や県等の関係機関との連携を密にしながら、市としても一日も早く新病院が建設されるよう、可能な範囲で慎重かつ積極的に協力していきたい。

その他の質問 ○環境行政（大気汚染測定姿勢）について ○6次産業化の推進について
○民生児童委員のあり方について

◆具定展望台の整備計画について

質問 標高349メートルに位置しているこの展望台は、瀬戸内海を展望でき、「夜景100選」や「恋人の聖地」に認定されたすばらしい場所である。場所がわかりやすい標識の設置を望む。また、展望台での駐車場整備や特産品、記念グッズの販売など、今後の整備計画を伺う。



大野 勝 議員

答弁 市長

具定展望台の標識等の設置については、夜間でもよくわかるよう照明に工夫した看板を設置する計画としている。駐車場は通常の利用については現状で支障がないと判断しているが、必要に応じて退避場の利用も含め案内していきたい。記念グッズ等については、水引業者の御協力による恋人クラフトパーツの開発・販売とあわせ、具定展望台独自の宣伝パンフレットを発行しているが、今後さらに新たな商品が開発できるよう、具定展望台をモチーフとしたお菓子やストラップ等の開発・販売の協力を各種団体や企業にお願いしていきたい。

その他の質問 ○ボランティア活動支援について ○四国中央市の広報について

◆地域コミュニティ基本計画と「地域デビュー」について

質問 地域力向上のために地域コミュニティ基本計画ができました。メンバー減少と活動のマンネリ化を防ぐために、市は積極的に「地域デビュー講座」を設けて、市民の皆様の内容の紹介や活動内容をワークショップ形式で考えたいと思っておりますが、いかがですか。



河村 郁男 議員

答弁 市長

地域デビュー講座に関する出前講座については、定年退職した方等がその講座を受講することにより、地域活動を行う上での必要な能力や知識を身につけることが可能となり、そのような方々が地域コミュニティを牽引する中で核的な人材となり得ることを鑑みると、有効かつ効果的な手法であると考えます。地域コミュニティを活性化し、地域社会のきずなを再生していくためには新たな人材の確保が肝要であるため、議員の御提案を踏まえ、その発掘や育成に向けた施策を講じていきたいと考えている。

その他の質問 ○児童遊園地整備事業について ○人口減少について

◆自然天然記念物の保護、保全について

質問 市内各所にある天然記念物に対し、どのような保護対策をしているのか。小中学生に対し、記念物を見学し学習する機会を設けてはどうか。富郷町藤原にある日本で2番目の大きさのイブキを保護するため、空き地を確保してはどうか。



三宅 繁博 議員

答弁 市長、教育部長

市内にある指定天然記念物は川滝断層を除いた全てが樹木などの植物関係であるが、当該樹木等の樹勢回復措置や枯死箇所の腐食防止措置等については、高度の専門的判断が不可欠であることに鑑み、樹木医による診断などの支援を実施している。これまでも各学校で天然記念物を見学するなどの取り組みを実施しているが、さらなる充実を図るため学芸員等による説明の機会確保等も検討したい。富郷町藤原にあるイブキについては、支柱や防護柵設置等を行う必要があると認識しており、助成金や当該設置が近接農家に及ぼす影響について、関係機関と十分協議しながら取り組みたい。

その他の質問 ○農地中間管理機構による農地の集積、集約化について

代表質問

質問は抜粋し、要約しています。

新政・公明クラブ



宇高 英治 議員

その他の質問

- 市民を守る
- 1次産業を守る
- 文化財と歴史遺産の管理について（埋蔵文化財・向山古墳）
- 高齢者をつつむ施策について
- 評価・診断・改善・改良

◆平成26年度予算案について
質問 地域元臨時交付金の「あったかい使い方」について伺う。

答弁 平成26年度の当初予算では、「あったかしこちゅ〜粋」として36事業、総額6億7,000万円を計上し、これまで市民からの要望に応え切れなかった事業や、効果が期待できる事業など、限られた予算の中で効果が最大限に発揮できるよう事業の選択と集中を一層進め、今後もめり張りのある予算編成に努めたい。

◆20年後の四国中央市について
質問 庁舎・支所施設設備の今後は。

答弁 現在の庁舎については老朽化が進み、大地震が発生した場合、倒壊等の危険性が高いことが判明した。耐震化し近い将来新庁舎を建設する場合と、耐震化せずに新庁舎を建設する場合とを比較した結果、40億5,000万円の負担軽減につながるが見込まれたことから、本庁方式への移行や施設の老朽化、狭隘化、耐震性の欠如等の相関する課題に対応するため、新庁舎を建設することを基本的な方針としたい。

◆地域医療・障害児教育環境について
質問 地域医療再生計画の進捗と適正受診について伺う。

答弁 宇摩圏域地域医療再生計画に基づく主な取り組みとして、HITO病院の新築・増床による救急搬送患者の受け入れ数大幅増や四国中央病院及び三島医療センターでの施設・設備面充実、地域医療再生学講座の継続などがある。適正受診については、啓発用冊子の作成や四国中央テレビで啓発番組を制作するなど、普及・啓発を継続的に進めていきたい。

◆産業支援について
質問 地場産業の育成及び企業誘致、工業団地開発について伺う。

答弁 本市では、企業ニーズに対し多方面に及ぶ支援に努めており、最近では首都圏交流会、合同就職説明会の開催など、新たな施策も展開している。今後も企業ニーズに沿った支援を進めていきたい。また、震災後、内陸型工業団地の必要性が高まる中、本市の企業誘致・留置にとって工業用地の確保は喫緊の課題であり、立地する企業ニーズに沿って整備方法を模索しながら具現化へ向けた取り組みを進めたい。

本会議での発言を記録した3月定例会の『会議録』を、6月上旬に市役所本庁、各庁舎及び図書館に備えます。また、四国中央市ホームページの「議会情報」にも全文掲載しており、検索も可能ですのでごらんください。

創政クラブ



吉田 善三郎 議員

その他の質問

- 四国中央市第2次総合計画策定について
- 新庁舎建設について
- 防災有線告知システム整備事業について
- 民間木造住宅耐震改修工事費補助について
- 新法皇トンネルについて

◆四国中央市発足10周年を迎えるに当たり
質問 10周年記念事業の予算と各事業の狙いを伺う。

答弁 10周年記念事業については、年間を通して6つの事業を企画しており、総額997万9,000円を当初予算に計上している。各事業では、10周年のお祝い、全国に向けた本市の情報発信、市政への興味や関心、観光交流人口の拡大、地域力の強化、四国中央市の歴史、産業、文化などの再確認等を狙いとしており、華美になることなくあったかな手づくりの記念行事の開催を基本に考えている。

◆住宅用太陽光発電設備補助事業について
質問 これまでの設置戸数・設備補助金額と、今後の本市の再生可能エネルギー政策を伺う。

答弁 補助を開始した平成21年度からの5年間で、延べ625件、6,951万8,000円を補助している。エネルギー問題は国の重要な政策として取り組む問題であり、技術開発等一層の進展を期待しているところであるが、再生可能エネルギーの普及拡大については、省エネルギー設備とあわせ、本市に適した再生可能エネルギー等の導入について検討を進めたい。

◆えひめ国体開催準備について
質問 本市の競技施設の整備状況と、来訪者を受け入れるためのソフト対策を伺う。

答弁 えひめ国体競技会場の施設整備については、改修計画を策定し、平成28年度内の完了を目指し着実に進めている。ソフト対策については、来訪者を市民総参加で受け入れることが最高の「おもてなし」と位置づけ、輸送交通、宿泊衛生、競技式典、総務企画全ての分野において、チーム四国中央として、今後さらに本格化、多様化する業務について、万全を期していきたい。

◆（仮称）ひとづくり支援センター建設について
質問 正式名称「子ども若者発達支援センター」通称「パレット」に込められた思いを伺う。

答弁 本施設は、児童発達支援センターと子ども若者総合相談センターの機能をあわせ持つもので、両方の機能を端的にあらわす名称にした。愛称については、さまざまな個性や特性が集まる中でそれぞれの成長や発達を支援し、社会へ送り出すための準備の場を絵の具に例え、いろいろな色を混ぜ合わせて新しい色をつくり出すパレットとした。

日本共産党



三谷 つぎむ 議員

その他の質問

- 防災・減災について
- 市民文化ホールについて
- 教育問題について
- 女性の登用推進
- 安倍内閣の農政転換について

◆合併から10年をどう見るか
質問 市の一体化に残る不便、不利益、不条理、不都合はないか。

答弁 平成26年度は合併10周年を迎えることから、県・市町連携による合併の検証のため、外部有識者が参加する検証・作業部会の設置や住民アンケートなどを行うこととなっている。議員御指摘の不便、不利益、不条理、不都合については、そういったことがないよう、今後も公平・公正を基本に住民サービスの維持・向上に向け努めたい。

◆市の財政運営と地方交付税、今後の見解を問う
質問 新年度予算389億4,000万円は、市債80億3,010万円で膨らみ今後の財政運営が心配されるがどうか。

答弁 新年度予算の市債約80億円のうち、77億円は償還額の大部分が地方交付税で措置される財政的に有利な地方債で、実質的な負担をできるだけ抑えることで、健全な財政運営を堅持することに心がけて予算編成している。また、アベノミクスにより景気回復が継続すれば、税収増等の影響により発行額も抑制できるものと考えている。

◆介護保険について、市の方針は
質問 国は要支援のサービスを市に移管し、特別養護老人ホームの入所は要介護3からの方針を示しているが、入所待ちと市の考えを伺う。

答弁 要支援サービスの市への移行や特別養護老人ホーム入所者を要介護3以上に原則限定することについては、国で審議中の法案の結果を見て検討したい。入所待ちについては、平成23年実施の調査で、入所の必要性が高いと思われる申込者数は217人いたが、その後入所施設が増床しているため、次期介護保険事業計画において対応を検討したい。

◆国保料が県下一高いのに、地域医療が貧弱。住民へのしわ寄せは大きい
質問 三島医療センターの現状と改善の方向を示されたい。

答弁 三島医療センターは、医師不足により診療機能が低下していると言わざるを得ないが、病院を運営する公立学校共済組合は、地域医療再生基金の活用により施設・設備を充実させるとともに、徳島大学との連携を強化するなど、持続可能な診療機能の維持確保に努めている。当センターは2次救急の一翼を担っていただいている病院でもあり、今後も協力していきたい。

一般質問



紙面の都合上
1議員1問の
質問を掲載
しています。

◆介護保険について

質問 介護保険制度は、要介護高齢者のサービスのために平成12年に施行されたもので、費用の50%を40歳以上の皆さんが負担し、残りの50%を国・県・市で負担している。平成27年度から第6期が始まるが、今後どのように取り組む考えか。

答弁 副市長

第6期介護保険事業計画は、住みなれた地域で安心した生活を送ることができるための地域包括システムを構築する「地域包括ケア計画」と位置づけられており、策定においては、国の制度改正等を注視し、課題を少しでも解決できるよう取り組んでいきたい。また、介護保険制度においては、所得に応じて負担していただく制度となっているので御理解いただきたい。



山川 和孝 議員

- その他の質問
- 乳児園の充実及び認定こども園について
 - スポーツに関連して
 - 都市計画用途地域指定見直しについて
 - 土地改良区の運用について

あっ! と思ったら
☎(0896) 74-4892
シロアリ予防・駆除の相談はお気軽にお電話で!
シロアリから大切な住まいを守りましょう!

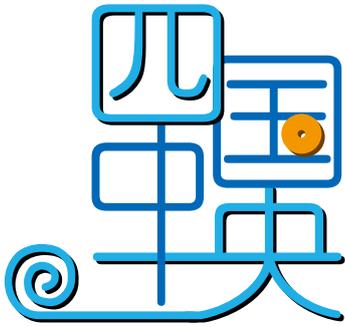
J A うまテイサービスセンター
あったか荘
三島 中之庄町1684-3 ☎121-24-8712
川之江 貴島町1525 ☎121-58-2132
土居 土居町土居885-1 ☎121-74-0150
営業時間 8:30~17:00
温泉 温泉・温泉・温泉

5/11 プライダル フェア
10:00~17:00
ホテルグランフォーレ
TEL 0896-23-3355

KUMON
5月無料体験学習受付中!!
川之江金田教室(坪井) 上柏バイパス教室(池田) 富川教室(菊池)
川之江馬場教室(藤田) 中宿根教室(横野) 豊岡教室(藤原)
川之江島崎教室(藤原) 三島中央教室(横野) 土居民津教室(鈴木)
金生中央教室(藤原) 中之庄中央教室(牟礼) 土居中央教室(井川)
★お申込み・お問い合わせは下記フリーダイヤルまで★
☎0120-372-100
●対象/幼児、小学生、中学生、高校生以上
●科目/算数・数学、英語、国語

命の鍵を握っているのはシロアリです。
地震の際、シロアリ被害を受けた建物は倒壊の危険が増し、人命が失われる恐れがあります。
友清白蟻 ☎(089)978-2630

あなたの
お店や会社を
宣伝しませんか?
広告主募集
問い合わせ先 広報広聴係 28-6158



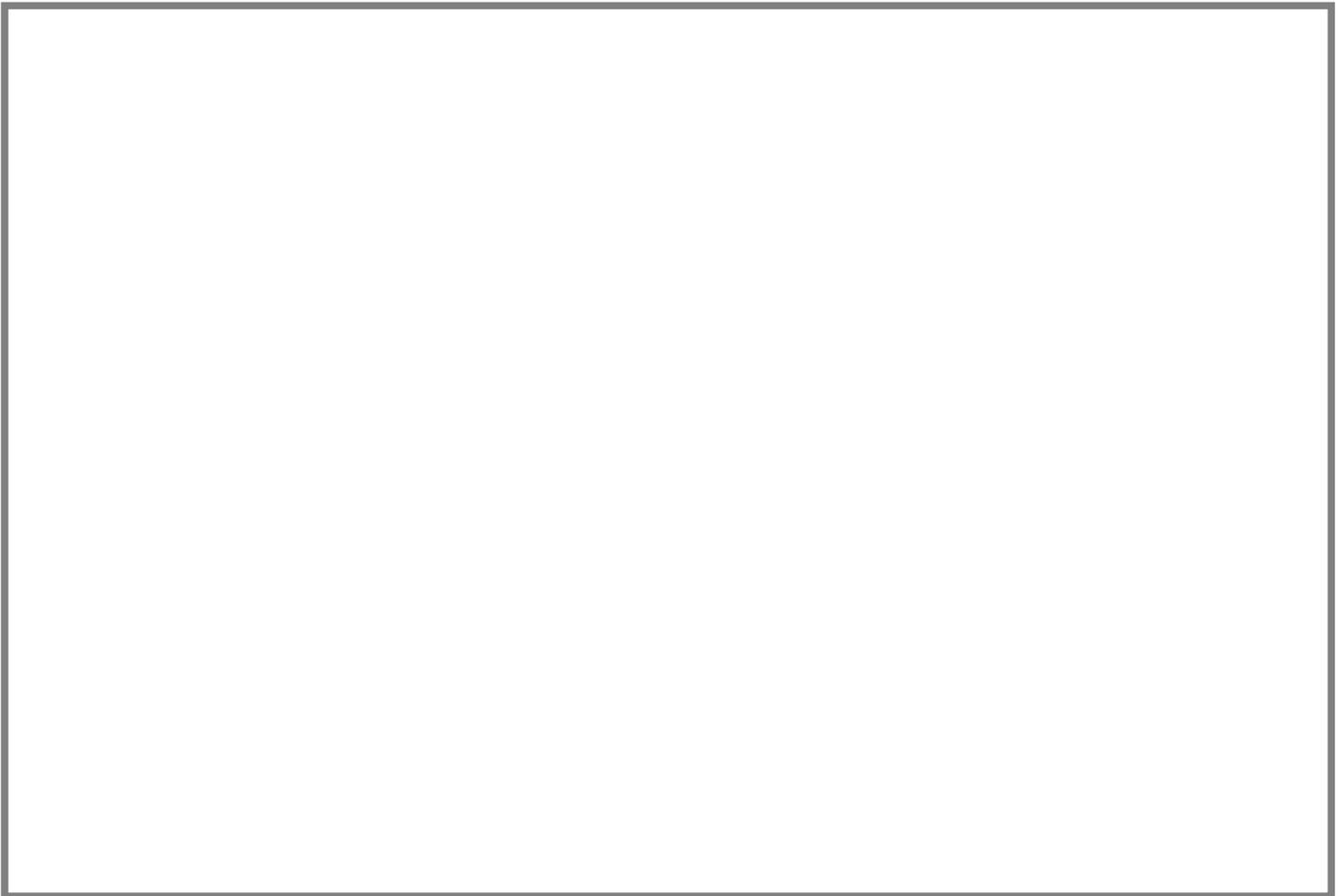
2014. 5. 1 NO. 40

市議会

だより



四国中央市のゆるキャラ本会議
議題は『市制 10 周年について』



平成 26 年第 1 回定例会は、去る 2 月 26 日から 3 月 25 日までの 28 日間の会期で開かれました。

今定例会には、平成 26 年度一般会計当初予算案を初め、市長提出議案 46 件、諮問 1 件、推薦 1 件、意見書 3 件、請願 3 件、陳情 2 件が上程されました。

主な内容

- ①代表質問……………P35 ～ P34
- ②一般質問……………P34 ～ P31
- ③委員会の審査概要……………P31 ～ P29
- ④議決結果一覧……………P29 ～ P28
- ⑤賛否の状況、子ども議会案内…P27

気持ちのいい家に暮らそう！
新築・リフォーム・リノベーション

株式会社 大和ホーム/ココロハス一級建築設計事務所
四国中央市土居町入野945-1
0896-74-5833

ココロハス 検索

We consult with the clients and produce what they want

株式会社 ヨンパ

オリジナル BOX ティッシュの
「ヨンパ」ならヨンパにお任せ下さい。

〒779-0431
四国中央市寒川町 2582
TEL 0896-25-2426
FAX 0896-25-2570
URL www.yonpa.com

●ノベルティティッシュ、企画・製造・販売 ●その他ノベルティグッズ企画・販売
●家庭紙・衛生紙、抗菌紙の製造・販売 ●輸入紙製造、販売

広告

住む人の事を考えて
快適な暮らしを
サーブ ご提案をするワン！

真心込めたご提案 リフォームのサーブ
TEL 0120-046-302

西国中央市川之江町 1655-3
川之江駅通りアーケード内

興陽商事(有)

売土地募集中! 0896-5298